

議 事 概 要

会議名	令和 5 年度 第 1 回 男女共同参画センター運営協議会	
日時	令和 5 年 6 月 16 日 (金) 19:00~21:00	
場所	中央公民館 3 階 第一会議室	
出席者及び 欠席者	出席者	12 名
	欠席者	2 名 (木村美由紀委員、高野好央委員)
	事務局	町民生活部 町民活動課 男女共同参画センター
	傍聴者	なし
次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 自己紹介 5 男女共同参画センター運営協議会概要説明 6 会長及び副会長選出 7 議題 (1) 令和 4 年度事業報告 (2) 令和 5 年度事業計画 (案) (3) その他 8 閉会	
会長及び 副会長選出	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の互選により、岡田治美氏が会長に選出された。 ・会長の指名により、遠藤壽子氏が副会長に選出された。 	
議題	(1) 令和 4 年度事業報告 事務局から説明後、質疑応答 会長 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターの活動について、メインとなる活動は、講座とパネル展で、これに、3年に1度、別事業として意識調査が実施されたと理解。このような事業で新しいアイデアが出ればいいと思う。 (2) 令和 5 年度事業計画 (案) 事務局から説明後、質疑応答 会長 「令和 5 年度センター講座 (案) について」 <ul style="list-style-type: none"> ・ア～ウまでは進める。エ～オに関しては、委員からほかのアイデアを募ったうえで、次年度も見据え、合わせて検討して行くこととする。なお、題名 (名前の付け方) については再考を要する。 	

議 事 概 要

会長	<p>「講座の検討について」</p> <ul style="list-style-type: none"> • どんどん進めるとついていけなくなる。初めての人は、今日は話を聞いただけとってしまう。私たちは何をするか具体的に提示をしてあげたい。案だけど話していることは決定事項のようでもあり、決定事項だとしたらそこで終わってしまう。事務局は年5回の講座を計画していることから5講座の提示をしていると思うが、全部説明して決定事項だということになれば私たちは何をやるのということになる。こういう講座があったら聞きたいとか、どう思うかということをおなさんに聞きたいところ。時間的に問題がなければ、2講座くらいまでで区切ってはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 開催に向けて時間的な問題もあり、3講座（ア～ウ）までは、先方と話を継続中（詰めているところ）なので、ウまで説明を行いたい。
遠藤委員	<p>「講座の開催日について」</p> <ul style="list-style-type: none"> • イ及びウの開催日について、町の行事等と重ならないようにする必要はあるが、どのように考えているか
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 町の行事で大きなものは掴めるが、細かなものはわからない。講座を多く持つ生涯学習課などへの聞き取りも考える。学生の試験期間、師走なども避けたいところ。みなさんからも情報提供していただきたい。
会長	<p>「講座について」</p> <ul style="list-style-type: none"> • ア～ウは昨年度末に前期委員は案の提示を受け、説明を聞いている。今年度に入り、既に6月であり、「さっそく8月から始めましょう」となると、真っ白な状態から始めるのはむずかしい。年度を越して企画、準備を進めているものなので、ア～イは進めてもらう方向で致し方ないのかなと思う。それでも、みなさんにそれぞれの立場から意見等を伺いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 役所で年度ごとにやっていると、4月スタートでも早くも6月、7月になってしまう。昨年度このような計画を出しており、ア～イはだいぶ詰めている中、これを変えるのはむずかしいところ。しかし、皆さんから意見等を聞くことは来年にもつながるので、ぜひ伺いたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> • 時間の制約もあるので、初めて委員となった方と、若い方で自ら継続して当会に参加したいとおっしゃった佐藤委員からまずは伺いたい。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> • ア～ウまでの説明を聞いて、どれも面白そうだし関心があり参加してみたいと思った。

議 事 概 要

事務局	<p>イのサイバー犯罪について、話題になっている闇バイト、県内でも盗難事件が発生している、こういった話題も入れたら面白いのではないか。</p> <p>ウのメンタルヘルスに係る講座では紹介のあった冊子を資料として配付してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウについて、講師予定者とは講座の内容について打合せするまでには至っていない。現在は秘書と連絡をとりあっているところ。今後、冊子を使用するか否かも含めて詰めて行きたい。
緑川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる点がいくつかある。まず予算がどのくらいあるのか。それによって考える幅が変わる。次に「男女共同参画」とこの講座がどのように結びつくのかがよくわからない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画」とこの講座がどのように結びつくのかがよくわからないという意見は委員になった当初にやはり感じた。 <p>講座について最初に説明があったように、「男女共同参画」を狭い視野ではなく広い視野で考えないとなかなか講座の内容が広がらないため、解釈を広げている。</p> <p>しかし、このような講座を男女共同参画センターが行う際に、少なからずこのような考えの方がいると認識しておくことは貴重な意見だと思う。</p>
今坂委員	<ul style="list-style-type: none"> ・どれも学生目線からすると参加してみたいと思う。このような講座があることをみなさんに広く知ってもらうようにしてほしいと思う。
近藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、どこを目的に、どこに向かって、どういう意義があるのかがわからない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画」を狭義で考えるとそこに陥ってしまう。それを構成するものは多岐にわたると考える。現在は、「男女共同参画」というよりは、「ダイバーシティ（多様性）&インクルージョン（包括）」を含めて広義に捉える方向で考えているところ。 <p>仰々しくなるが、講座の趣旨を敢えて述べるとすれば、アは「男女関係なく科学に興味を持ってもらうこと」、イは「誹謗・中傷などは人権に関わる問題であり、その被害防止策等を知ることは平穏な日常を確保するために重要」、ウは「メンタルヘルス不全は社会に及ぼす影響が大きく、その対処法を少しでも知ることが健全な社会に近づくための一助になる」としている。</p>
迫田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ア～ウの説明を聞いてどれも面白そうだし、生活に身近なものなので良いと思う。 <p>議論になっている「講座と男女共同参画センターとの関わり」について</p>

議 事 概 要

井上委員	<p>て、「男女共同参画」にフォーカスしたイベントも大事だが、それでは「男女共同参画」に興味のある人しか来ないのではないか。ア～ウは、関わりは薄いかもしれないが、それを介在しているところが男女共同参画センターだと気づいて、そこからセンターを認知してくれる人が増えたら、それはそれで価値があるのではないかと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が企画を担当するとしたら、一番近い大学は茨城大学（農学部）で、そこに遺伝子に係る実験施設があり、多くの女性研究員もいるのでそのような姿を見てもらうのと、子どもたちに簡単な実験を通じて、これが先端の遺伝子に関係するものなのだと知ってもらう。それが、自分たちの職業を選択するときに刺激になるのではないか。 <p>また、「環境」でいうと、茨城大学は霞ヶ浦に水生物の研究施設があり、そこでは霞ヶ浦の生物を通じて環境の話をしている。そこも女性研究者が多い。そういうところに出前講座を依頼すれば、喜んで受けてもらえるのではないか。</p> <p>イについて、今一番問題になっているのはスマホを子どもに持たせたときのトラブルであり、対象は一般ではなく若い人（中・高校生）とし、犯罪に関わらない・何が犯罪なのかを県警の方に話してもらえば、DV や性被害の話にも及ぶのではないか、そして、男女共同参画の中の一つのテーマになると思う。一般対象ではなく、学校で話してもらうのが良いのではないか。</p>
遠藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホと犯罪について、他で実施したものに参加したが人が集まらなかった。
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一般を対象として、むずかしい題名をつけても来ない。学校に出向いてはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学校への働きかけは、所管が異なるなどの理由でむずかしい。
井上委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会はどうか。自治会を通せば良いのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後に向けての一つのアイデアとして良いと考える。 ・先ほど質問のあった予算について、講座1件当たり講師料等を含め3万円×5講座となっている。これまでの実績としては、半数が有料、残りが出前講座等により無料のものとなっている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・後半で実施可能な講座候補を提案してもらえると事務局も助かると思う。その際、男女共同参画を狭義に考えると人集めがむずかしい。良い講座だと思うことと、行くという行為がなかなか結び付かない。人を集めることも含めて、何かアイデアがあれば提案してほしい。
佐々木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年3月に概要は聞いていて、こういう方向で今年度は進めるという形は良いと思う。

議 事 概 要

遠藤委員	<p>一方で、中身については、男女共同参画という視点をもう少し意識した内容になるよう講師に求めても良いと考える。例えば、オの「気象予報士による防災出前講座」だが、一般的なものではなく、「ミルクはあるか、授乳する場所はあるか、生理用品はあるか、トイレに問題はないか」などの視点も必要であり、実際に経験もしている。現実にかかる問題として認識すべき。</p>
新橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「あみ・男女・まち・ねっと」の出前講座などは男女共同参画の視点を入れたものになっているので良いのではないかと。 ・男女共同参画という大命題があり、そのための協議会だと思う。講座について、男女共同参画との結びつきがイメージしにくい。また、マンネリ化しないようにしなければいけない。横文字が多くなったが、それだけ「男女共同参画」はグローバルな問題であるとも言える。日本のジェンダーギャップ指数が相当低位となっているなか、国や県といった大きな話ではなく、市町村・地域レベルで少しでもステップアップしていこうとしているところ。その時に原点を忘れずに、そして、一般の人がわかりやすいようにすべき。テーマは面白いが、男女共同参画として何がポイントなのか、当会場で整理すれば入って行きやすい。
井上委員	<p>横文字の件では、用語の理解は大切なので、広く知ってもらうために広報誌などで伝えて行くことが大事だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横文字の件で、「男女共同参画」という言葉は非常にわかりにくい、「ダイバーシティ」である。センターの名称についてなどは国の方針だからそれはそれで良いが、「男女共同参画」を若い人に言ってもわからないと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・井上委員の挨拶での「男女共同参画は時がたてば進んで行く」という言葉が腑に落ちた。今ここで議論していることは子どもたちに全く必要のないことかもしれない。意識調査をすることでバイアスをかけているかもしれない。男・女と気にしない子供たちの邪魔はしてはいけないと思う。「男女共同参画とは」と声高にうたう必要はないかもしれない。意識しているのは年齢が上の人たちであり、考えがなかなか抜けない。そこを議論しても何の意味もないと感じる。 <p>そこで、せっかく若い人が多いので、若い人を中心にいろいろな意見を出してもらい、今年一年で意見に結果は出ないかもしれないが、このことを蓄積して、方向を少しずつ変えていけたら良いと思う。</p>
新橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・男女、いろいろな世代・立場の人が集まって話し合うのも男女共同参画だと思う。それを一般の人に伝えて行くためテーマや方法を考える

議 事 概 要

<p>会長</p> <p>井上委員</p>	<p>場とっている。その際に独りよがりにならないようにすることも大事と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程的にア～ウまでは進めないという背景もあるので、進めることとしたいと思います。エ～オに関しては、みなさんからほかに何かアイデアを出してもらい、次年度も踏まえ、合わせて検討して行くこととしたいと思います。 ・ 内容はともかく、名前の付け方を考えないといけないというのが、本日の指摘事項だと思う。
<p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>新橋委員</p>	<p>「リーフレットについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これはいつ頃の予定か。 ・ 今年度末までに形にしたいと考えている。 ・ みんなで考えていくものと理解。 ・ 小中学生意識調査において、以前と比較して男女共同参画に関する意識・認識が変わっていない項目に着目してはどうか。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども向けの男女共同参画についてのリーフレットだとすれば、小中学生意識調査結果をもとにすると考えずに、一から子ども目線で作成を始めてはどうか。 <p>小中学生意識調査結果は今の子どもに必要な情報ではなく、大人に必要な情報だと考える。子供はこのようなことを意識していない。</p> <p>子供に向けて何を発信したほうが良いかは、今から意見を聞いて進めてはどうか。そうすれば新しいものができるのではないか。</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手始めとして、小中学生意識調査において意識として改善が必要な項目を表に出し（抽出し）、それらについて議論をしたい。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善が必要な項目を抽出したものを次回以降議論の材料とし、また、それ以外の男女共同参画に係るテーマがあれば取り上げて、逐次子ども目線で議論をして正しく、積極的に取り入れていく方向で進めると理解。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ その方向で進めたいと考える。無意識の理解と意識した理解は異なると考えており、表に出して（意識して）理解してもらいたいと考えているところ。
<p>会長</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 邪魔しないように留意する必要がある。 ・ 今回のものがどの程度になるかわからないが、あまり重く考えずに、積み重ねて行けば良いと考えている。
<p>遠藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちょっと読んでみたいなどと思ってもらえるものになれば良いと思う。

議 事 概 要

井上委員 会長	<p>「小中学生意識調査について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問を見るとバイアスをかけているように思える。 ・最初に始める時に必要と考えていたものの、今となってみると、いらなかったかなと思えるところがある。
井上委員 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・何のためにやったのかというのが感想。 ・その時には必要だと思って作ったものなので決して否定するものではないが、これをもとにしてこれから何かできるかという、もしかしたら少ないのではないかと思う。そのことが分かっただけでも成果かなと思う。
井上委員 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかく男女共同参画というものを調べるのであれば、高校3年や大学4年といった就職を控えた（社会に出る）人を対象にしてはどうか。 ・それら対象者の意識は知りたいところ。今後の調査のありようについては検討が必要である。
山口委員	<p>(3)その他</p> <p>①次回（第2回）運営協議会開催日</p> <p style="padding-left: 40px;">日時：令和5年7月21日（金） 午後7時～9時</p> <p style="padding-left: 40px;">場所：中央公民館 3F 第一会議室</p>
井上委員	<p>「開催時間について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催通知の記載を見て夜7時からとあり驚いた。遅い時間帯に設定しているのは、委員の出席のための都合によるものではなく、阿見町における当会の立場によるものと思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまでも委員の出席のための都合によるもの。学生や社会人の場合、昼間の出席は困難であることから、以前より委員各位の合意を得て夜7時からとしているもの。
事務局	<p>以上をもって、第1回阿見町男女共同参画センター運営協議会を閉会する。</p>